

神戸スポーツサーキット バイク走行のルールについて

はじめに

近年バイク離れが問題とされている中、神戸スポーツサーキット(以下KSC)ではバイク走行利用者が年々増えており盛り上がりを感じています。

利用される理由は色々あるかと思いますが一番は縛りの少なさによる敷居の低さかと思っています。サーキット使用時のルールを全く知らないと思われる方でもすぐ走行できるので利用し易い反面、非常に危ない場面も見られるようになっていきます。

直接注意喚起等でできれば良いですが、人口がどんどん増えているため、声かけも難しくなっています。一人一人が安全に走行できるように、最低限のルールを設けましたので、目を通し遵守してください。

1: 注意点

施設のルール (見学者含め)

- コース走行者以外のコースへの進入は原則禁止です。
転倒者を見かけてすぐコースに救出に入られる方が居られますが大変危険です。
過去、走行車が走っている近くを横切る人もいました。重大事故が発生した際はコーススタッフに伝え指示を待ってください。
もし緊急によりコース内に進入する際は、十分注意し走行者のいないタイミングでお願いします。
(コース走行中いきなり人が出てくると走行者は怖いです。)
- コース内にて写真撮影をする方がおられますが、コース内は大変危険なためコーススタッフに許可を得て、安全な場所からの撮影をお願いします。
(コースから一定の距離を取る)
(むやみにコースを歩き回らない。)
- ピット、パドックエリアは火気厳禁です。喫煙はプレハブ横の喫煙スペースでお願いします。
- ピットロードを横切の際は十分注意してください。ピットロードはコース上と同じという意識持ち、立ち止まらない様にしてください。

コース走行者のルール

- ライダーはフラッグの意味を覚えましょう。フラッグはコントロールライン横で使用されます。



チェッカーフラッグ

走行時間終了です。
ピットへ戻ってください。



赤旗(走行中止)

走行中止です。細心の注意をはらい
直ちにピットへ戻ってください。
※ 必ずペースダウンすること



緑旗

走行可能(コースクリア)です。



黒旗

振られた方のみ対象です。
振られたらピットへ戻ってください。
※ KSCでは指を指されながら
黒旗が振られて合図されます。



黄旗(危険信号)

コース上でトラブル(転倒者)があります。
注意してください。
※ 静止時 コースインする車両がいます



オレンジの円の黒旗

振られた方のみ対象です。
振られたらピットへ戻ってください。
※ KSCでは指を指されながら
オレンジボールが振られて合図されます。
車両にトラブルが
発生している場合に振られます。



神戸スポーツサーキット バイク走行のルールについて

コース走行者のルール(続き)

- ・パドック(駐車場)での練習走行、セッティングは禁止です。(8の字走行や、サスや燃調のセッティング等)見学者の中には小さなお子様も居られますし駐車している車と接触する恐れもありますので止めてください。コースインの為パドックを走行する際は十分注意してください。
- ・コースイン後すぐにベストラインの走行は止めましょう。2コーナーまでは右側を走行し後続車に注意する。安全確認できてからベストラインに入りましょう。スムーズに合流できそうになれば後続車がないタイミングでコースインしましょう。
- ・コースイン、ピットインの際は手なり、足なりで合図をしましょう。
- ・ピットロードでの全開走行は禁止です。右側ピットからの車両及び人、左側ピットウォールからの人に注意しましょう。
- ・練習走行はレースではありません。無理な追い越しは止めましょう。また、ストレートで蛇行やブロック紛いなことはしないこと。
- ・コース上での停止は原則禁止です。(エスケープゾーンを除く)転倒者に声を掛けたり、手助けの為、コース上で止まれる方が居られますが緊急性のない場合を除き大変危険ですので止めて下さい。(多重事故の可能性)重大事故を発見した際は後続車に合図し、走行中断(赤旗中断)を促してください。
- ・自分より速いバイク(走行者)が後から来て、譲る場合に急な進路変更やペースダウンはしないでください。譲る場合はできるだけ早めに合図を出して、進路変更せず少しペースを落としそのまま譲りましょう。速い人は無理なく抜いてくれるはず。もし、あまりにも強引な追い越しを繰り返す人がいたらコーススタッフに伝え対応してもらいましょう。
- ・ピット、パドックでの無駄な空ぶかしは止めましょう。
- ・朝のエンジン始動は近隣住民の迷惑にならないよう8:30以降にしましょう。

転倒したら

- ・転倒時はまず後続車に合図してください。合図もせず後続車に対して背を向けるのは大変危険です。
- ・安全を確認してコース外に出てください。コース上で再始動はしないでください。
- ・脱落部品等あれば無理のない範囲で回収してください。コース上に脱落部品があり回収が困難な場合は、コーススタッフに伝えて回収して貰ってください。
- ・始動後、後続車がないことを確認してからコースに戻ってください。
※一人でエンジンを掛けられない、バイクを起こせない方は走行できません。(子供を除く)

ワンポイント

キャブ車の場合、転倒後エンジンが掛かり難いことがあります。(エンジン内に少量のガソリンが入り被った状態になる為)その場合アクセル全開で始動してみてください。(そのまま発進しないようギヤ、クラッチ操作に注意すること)
※インジェクション車ではしないでください。

走行台数が多い日のクラス分けについて

- ・クラス分けされた場合は、必ず1つのクラスのみを走行してください。(複数のクラスは走れません。)
- ・クラス分けは基本的にタイムで分けられます。上手な方でも4サイクル50cc等での上級クラスの走行は速度差が大きく危険です。自分のペースやマシンの調子等で、クラス変更してください。



神戸スポーツサーキット バイク走行のルールについて

2. 車両について

走行できる車両

ミニバイク

- 2サイクルー85cc未満
- 4サイクルー150cc未満

ミドルクラス

4サイクル250ccまで

- 中型車両でのカートコース走行は危険だと認識してください。
- カートコースのエスケープゾーンに対して出力が高すぎる。
- 速度が出過ぎる為、転倒した際エスケープゾーンが不足します。
- また、ミニバイクに対して車重も重たい為、転倒した際の滑走距離も長くなります。

必ず行うこと(未実施の車両は次回走行までに必ず実施してください)

- キャブレター装着車はガソリンキャッチタンクをつけること。
転倒時、キャブレターからガソリンがこぼれると大変危険です。車両火災にも繋がります。
また、ガソリンはアスファルトを溶かしコースが傷みますので必ず取り付けましょう。
※キャブレターは転倒した際エンジン内に液体のガソリンが入らないように外部に出るようになっています。
- 各ドレンボルト(オイル、冷却水)、フィルターキャップ(給油口)にはワイヤーロックを行うこと。
当日、ワイヤーロックが困難な場合は必ず締め付け確認をしてください。
1台のオイル漏れで数十台の車両が転倒に巻き込まれるかもしれません。十分注意してください。
- 走行前に各部ボルトに緩みがないか確認しましょう。
- サイドミラーは取り外すこと。
※転倒時ガラスが飛散する可能性がある為。
- ヘッドライト、テールランプ、ウインカー装着車は取り外すか全面テーピングを行うこと。
※同じく転倒時レンズが飛散する可能性がある為。
- サイドスタンドは衝撃により出してしまうことがあるので必ず取り外すこと。
- その他、突起物は取り外すか処理をすること(転倒により尖ったレバー、ステップは交換しましょう)

※ 上記が守られていない車両は走行をお断りさせていただきます。

強く推奨

- ラジエターにクーラントを使用している場合はなるべく水に交換してください。
クーラントがコース上に流出すると非常に滑りやすく処理が必要となります。
サーキット走行では全開走行が長い為、水温も上がりやすいです。
クーラントより水の方が冷えるのでエンジンにもやさしいです。
※ただし水を入れたままにしておくでエンジン内部の鉄部品が錆るので走行後は抜きましょう。
- アンダーカウルの装着。
エンジントラブルの際オイルの飛散を最小に抑える為です。
- チェーンガード、チェーンカバーの取り付け。
ミニバイクといえど転倒時、もしチェーンとスプロケの間に手が入ってしまったら指は千切れます。
(実際ミニバイクで事例がありますので人事ではなく自分を守る為に装着をお勧めします)

ワイヤーロック手順 (NSF100を例として)



必要なもの
ワイヤーツイスター
※なければペンチでも可能
ステンレス製の針金(0.5~0.9mm)



準備
ワイヤーロック可能な
ドレンボルトへ交換し
ドレンボルト前方のリブに
2~5mm程度の穴を開ける。



ドレンボルトにワイヤーを通し固定する部分に沿わせ適当な長さでワイヤーを切ります。(少し長めに)
必ずボルトの締め付け方向に(時計回り)
固定する部分までワイヤーツイスターもしくはペンチでワイヤーをねじります。(少し短めに)
固定する部分に片方のワイヤーを通し、再度ワイヤーをねじります。
適度な張りができるようにしてください。(緩いと意味がありません)
適当な長さでカットしワイヤーを折り返して完成です。(折り返しは整備時の怪我防止になります)

4. 装備について

- ・ 上下革ツナギ(または長袖、長ズボンでライディングに適しているものも一部可能)
- ・ フルフェイスヘルメット
- ・ グローブ、ブーツ(革製品、またはそれに準ずるもの)

5. 営業案内

- ・ 走行時間 9:00~12:00 13:00~16:00
- ・ 走行料金 1日 6000円 半日 4500円 タイム計測器レンタル 1000円

走行券について

- ・ 受付時に発行した走行券は車両の前か右横の良く見える場所に貼り付けてください。
- ・ 走行券を紛失された場合は再発行できません。その時点で走行できなくなりますのでご注意ください。

5. 最後に

ルールを守って、楽しく安全に走行しましょう。